

第1回社会システムイノベーションセンター・レクチャーシリーズ 「競争法（独禁法）の来し方・行く末」を開催しました

第1回社会システムイノベーションセンター・レクチャーシリーズは神戸大学法学研究科名誉教授、神戸大学社会システムイノベーションセンター特命教授根岸哲先生を講師にお迎えし、「競争法（独禁法）の来し方・行く末」と題して開催されました。

レクチャー前半は「競争法とは何か」に始まり、各国競争法の歴史と比較（共通点と相違点）、我が国における戦後の社会状況やエピソードを織り込みながら独禁法判例・理論の展開過程が描写され、続いて後半では、競争法と経済学との関係を取り上げ、経済学の知見を競争法はどのような形で取り込んでいるのかについて具体例を掲げつつ論じられました。さらに、競争法と隣接法領域（行政法、刑法、民法、知的所有権法、労働法等）との密接な関係が具体的問題を提示しつつ論じられました。さらに、競争法のグローバル化・スタンダード化の傾向と同時に各国競争法の独自性維持をめぐる問題が論じられ、最後に、競争法の一般性、第4次産業革命とも呼びうる状況と競争法、分野横断性と総合性、学際性、国際性というそれぞれの局面から競争法研究の面白さ、今後の展望が論じられました。

レクチャーに続く質疑応答においては、経済学研究科、経営学研究科、経済経営研究所の教員スタッフとの間で意見交換がなされ、部局を超えた研究交流の貴重な機会となりました。

